

すいさん山形

漁民と手をつなぐ広報誌

No. **350**

令和2年 / **1** 月号

山形県漁業協同組合
広報誌

謹賀新年

表紙の写真は、酒田市飛島支所職員の石澤係長が下宿から鳥海山を撮影したものです。

飛島の風景はどれも一枚の絵のように美しく、いつまでも変わらずそこにあり続けています。

昨今、水産業界を取り巻く環境には様々な変化がみられ、漁海況への影響が

懸念されているところですが、令和での新年を迎え、気持ちも新たにお過ごしのことと思います。

飛島を囲む海が島と共に変わらず美しくありますよう、

どうか皆様に幸多い年でありますよう祈念いたします。



新年のご挨拶

山形県漁業協同組合

代表理事組合長 本間 昭志

新年 明けましておめでとうござい
ます。令和二年の新春を迎え、組合員の皆
様、役員ならびに水産関係団体の皆
様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨今の漁業を取り巻く状況を
見ますと、地球温暖化の影響等による
漁海況の変動、国際的な漁業規制等へ
の対応、漁業就業者の減少と高齢化、
漁業後継者不足等の漁業の構造的な問
題に加え、大和堆をはじめ沖合漁場
における北朝鮮や中国漁船による違法操
業や漁獲圧等依然として困難な諸問題
に直面しております。

このような状況下において、昨年十
一月二十二日には、全国の漁業代表者
を中心に一千名が集結し、全漁連主催
により「JF全国代表者集会」が開催
されました。

代表者集会では、漁業を巡る厳しい
現状を乗り越えるため、「水産業の成
長産業化に向けた改革の実践」JFグ
ループが漁業者とともにみずから拓く
「浜の未来」をスローガンとする向こ
う五年間のJFグループの運動方針お
よび「水産業の成長産業化に向けた改
革の実践に関する特別決議」を採択し、
JFグループが一丸となって改革に邁
進することを内外に表明したところで
あります。

当組合としても、この運動方針に呼
応するとともに、本年度より再スタ
ーとして第六次中期経営改善計画の

進捗状況を常に検証しながら、漁業者
による浜の活力再生と漁業構造改革の
取組みを積極的に支援し、組織を挙げ
て事業推進・組織改革を着実に実践し
ながら組合員の皆様の負託に応える決
意であります。

また、一昨年の十二月に可決成立し
た水産政策改革に向けた改正漁業法等
については、資源管理、漁業権管理諸
制度、漁業協同組合のガバナンス等に
関する改正が行われ、今年四月以降、
この制度の運用や新たな制度の導入が
予定されています。

今後は、新たな制度を活用し、適切
な資源管理と漁業所得の向上、漁業の
成長産業化を実現する必要があります。
当組合は、本県漁業を維持・発展させ、
地域社会・経済への貢献を果たすこと
も、多面的機能の発揮等、漁業協同
組合としての使命を果たしていかな
ければならないと考えています。

また、今般、国は、水産改革を進め
るための水産関係予算の概算を閣議決
定いたしました。
今年度補正も併せた予算総額は三千
五億円となったところであり、JFグ
ループが求めてきた予算額が確保され
たこととあります。

この中には、漁船リースや新リース
事業についても要望通り確保されたこ
ろであります。

漁業者の皆様には、この予算につ
いてしっかりと活用していただくことが
必要であり、当組合は漁業構造改革に

向けた漁業者の取組みを全力でサポー
トしてまいり所存であります。
ところで、昨年六月十八日に発生し
た山形県沖地震では、漁業者の住宅や
漁港・港湾施設に甚大な被害があり、
当組合の施設についても被災したこ
ろであります。

特に、豊浦支所については、外壁の
崩落や支柱に亀裂が入るなどの被害を
被ったうえ、その後も有感地震がない
にも関わらず施設全体が揺れるなどの
現象が続いております。

このため、専門業者に地震被害診断
を依頼したところ、「中破」と診断され
「抵抗せん断力が不足し、柱部材の倒壊
が生じると思われ、危険」と判断され
ました。

豊浦支所は、底曳網漁や定置網漁、
小型漁船の基地でもあり、安全・安心
な荷捌施設の充実は地元漁民の強い要
望でもあることから、令和二年度の国
の事業により代替の荷捌施設の建設を
決断したところであり、なにとぞ組合
員の皆様にはご理解を賜りますようお
願い申し上げます。

次に、当組合の経営状況を申し上げます
と、特に基幹事業である販売事業
について、中小型が釣漁業の空前の不
漁などにより、十二月末日現在、前年
対比一億一千万円減の二十二億六千六
百万円という深刻な状況で推移して
おります。

三年連続での水揚の大幅減少は、経
済各事業に大きな影響を及ぼしており、
第六次中期経営改善計画・修正計画の
初年度として、事業の推進と諸課題の
解決に取り組んだところでありますが、
計画水揚の達成が厳しいだけでなく、
目標利益の確保についても極めて厳し
い経営内容で推移しております。

当組合はこの現状を真摯に受け止め、
こうした環境の中でも経営が成り立つ
組織として、事業の展開と組織改革を

進めていかなければなりません。
そして、役員が一丸となり、経営
収支・コスト意識を認識しながら事業
を展開し、たゆまぬ努力を積み重ねな
がら事業利益の確保を目指していかな
ければなりません。

今後更に進展するであろう水揚げ減
少による収益減をどこでカバーするの
か、事業直接費や管理費の削減も含め、
各事業の推進に全力で取り組むことが
求められております。

いづれにしても、危機突破のために
は、今迄以上に組織一丸となり諸問題
の解決に努め、経営基盤の強化された
活力ある漁業・漁村の構築が可能な強
靱な組織構築を必ず実現しなければな
りません。

現在、国の事業を活用し、公認会計
士等の外部専門家による当組合の現状
分析・将来予測・その他の改善策の検
討を実施しているところであり、その
成果物が提出された段階で、当組合の
将来あるべき姿を計画・策定いたした
いと考えております。

ちなみに、今年の干支にあたる「庚
子（かのえね）」は、過去の成果から
引き継ぐべきものを維持しつつ、新た
な環境や局面に向けて体制を整えて行
けば、良い年になると言われております。
まさに、新しい令和の時代となり、
水産政策の改革や新たな運動方針とい
う、新たな環境や局面での組織として
の体制整備を充実させるため、組合員・
役員の方には引き続きの「ご支援、
ご協力を切に願います。」

最後になりましたが、令和二年が漁
業や漁村にとって新しい幕開けとなる
とともに、全組合員をはじめ、関係役
職員にとりまして良い年でありますよ
う、また、操業の安全と大漁、一層の
ご繁栄・ご健勝をご祈念申し上げます。
新年のご挨拶いたします。



日本漁船保険組合
山形県支所連営委員長

伊原 光臣

令和二年の新年を迎え、皆様にご挨拶を申し上げます。

平素は当組合業務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、漁船保険組合は組織統合一元化から三年目を迎え、組織発足以来順調に業務を遂行できておりますのは、皆様のご支援とご協力の賜物と、衷心より感謝申し上げます。

平成を振り返りますと、水産業界を取り巻く環境と同じく、漁船保険業界も組合員数及び加入漁船隻数が大きく減少しており、厳しい状況にある一方で、加入隻数に対する事故件数の割合である事故率は、平成元年で約三十%だったものが平成三十年末には約二十%まで縮小しております。これは、組合員の皆様が事故防止に力を注いできた成果であり、このような中で、令和の新しい時代を迎えることができたことに、改めて深く感謝申し上げます。

漁船保険組合は、今後も与えられた役割を的確に果たし、漁業者の皆様にご安心をもちます制度であり続けるため、漁業者ファーストの立場から漁業経営を支えるセーフティネットとして保険制度の維持・発展に役員が全力をつくし、業務を遂行していく所存です。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして、明るく実り多き年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



全国合同漁業共済組合
山形県事務所連営委員長

本間 昭志

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新春にあたり、皆様の本年的にご多幸を心よりご祈念申し上げます。

昨年を振り返りますと、記録的な不漁や時化などが年間を通して恒常化している中、漁業経営のセーフティネットとしての「ぎよさい」と「積立ぶらす」が果たすべき役割と重要性を改めて認識することになりました。このような中、国は漁業の成長産業化と資源管理を両立させ、漁業の再興を図ることを目的に、一昨年、漁業法を70年ぶりに改正しました。そして、この改正漁業法の下で適切な資源管理等に取り組み漁業者の経営安定のためのセーフティネットとして、「漁業収入安定対策事業の機能強化と法制化」を進めることとしており、その動向が注目を集めております。

漁業共済団体が、平成29年度から実施して参りましたが、「ぎよさい」で安心・ぶらすで万全」をスローガンとした「ぎよさい普及推進全国運動」は最終年を迎え、4月からは新たなスローガンの下で「ぎよさい普及推進全国運動」を実施する予定としております。「ぎよさい」と「積立ぶらす」の未加入解消を目指して、より一層の加入拡大に取り組み所存です。新年を迎え、この一年が災害の無い年となることを祈念すると共に、万が一の備えとして「ぎよさい」と「積立ぶらす」が漁業経営をサポート出来るよう、事業の普及に努めてまいりますので、本年も皆様の変わりぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



JF共済東北事業本部山形支部
山形県JF共済推進本部
本部長

本間 昭志

新年おめでとうございませす。新しい年を迎え、組合員の皆様、役員の方々の皆様のご健勝を心よりお慶び申し上げます。

本県推進本部は、「一人ひとりの笑顔のために」協同の原点 JF共済新3か年計画（平成29年度～令和元年）を掲げ、チョココー・くらしキャンペーンを実施しています。今年度はこの3か年計画の最終年度として「組合員・地域住民の暮らしの保障に万全を期す」取組みを実践することので、組合員一人ひとりが笑顔になれる浜作り目指し、主要課題である共済事業量の目標必達に向け、全力で取り組んでいるところであります。

JF共済は平成29年に建物共済「くらし」の制度改正、平成30年には生命共済「チョココー」の制度改正をそれぞれ行ない、さらなる医療保障の充実、「くらし」は年々増加している大規模自然災害に対応すべく補償内容をより拡充させ、様々なニーズにこたえるための保障制度づくりを行ない、普及拡大に努めつつ、目標達成に向けて最大限の努力を図って参りたいと考えております。

最後になりますが、令和2年が皆様方にとって、新しい幕開けになりますとともに、なお一層のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



全国漁業信用基金協会
山形支所 担当理事

阿部 信彦

新年明けましておめでとうございます。当協会の業務につきまして、日ごろから格別の御支援、御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

当協会は、中小漁業者等の皆様が金融機関からの資金調達を円滑に行えるよう、その債務の保証を業務としております。さて、漁業信用基金協会では、平成29年4月に全国19の道府県の協会が「全国漁業信用基金協会」を新設し、また、平成31年4月には本県を含めた全国18都県の協会と吸収合併し、全国37の支所を擁する全国規模の協会となりました。

この合併により、財務基盤の安定化や保証限度額の拡大等が図られることになり、今後は、中小漁業者等に対する更なるサービスの向上や安定した保証制度を提供できるよう役員一丸となつて努めて参ります。現在、水産資源の減少等により、中小漁業者等の経営は依然として厳しい状況が続いております。当協会としては、保証制度の果たす役割は従来にも増して重要になってきていることを認識し、経営理念に掲げる水産業の振興と漁村地域の発展に全力で取り組む所存であります。

最後になりますが、この一年の大漁と漁業関係者の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

「ぎよさい」と「積立ぶらす」で守る豊かな未来！

親子年

年男さん大いに語る!



プロフィール

- ①自分にとって過去1年間良い事ベスト1
- ②子年にかける夢
- ③漁協に期待すること（水産業主体でも良い）

昭和11年
生まれ



飛島支所

佐藤 勝一

太平洋中型サケ・マス、日本海サケ・マスやいか釣船の船長を務め、大活躍してきた。現在は天候の良い日のみで、磯見漁を営みつつ飛島コミュニティ振興会の会長を務めるなど、島全体のまとめ役として若々しく頑張っている日々。

- ①皆様、新年明けましておめでとございます。昨年も皆さんに支えられながら、まあまあ的一年でした。今年もよろしくお願ひします。
- ②今年も健康で過ごせますように。
- ③組合員の高齢化、人口減少、過疎化等離島ならではの問題もありますが、漁協、行政も島民をリードしながら一体となって取り組んでほしい。

昭和47年
生まれ



豊浦支所

池田 哲也

幼いころから海や漁業に興味があり遊漁などを営んでいたが、昨年から新たに「瑞鳳丸」という立派な漁船を持ち、現在はごち網漁業を営んでいる。①昨年の良いことと言えば、やはり念願の自分の船である「瑞鳳丸」を持つことが出来たことです。新たに底曳船主会の一員として操業し、漁獲できるようになったことが一番です。

- ②無事故操業が出来ればと思っています。あとは、やはり大漁することですね。これからも健康に気を付けて頑張っていきたいです。
- ③明けましておめでとございます。市場や地区全体に活気が溢れ、賑やかな浜になるように、漁協職員の皆様と共に頑張っていきたいと思いますので、今年もよろしくお願ひ致します。

昭和47年
生まれ



吹浦支所

篠川 尚弘

千葉県の高校を卒業後運送業に就職、その後結婚を機に潜水・刺網漁業を営み、現在に至る。

- ①体が資本なので健康で怪我なく操業できたことがなによりだが、昨年2回目となった「若ガキ祭りin吹浦」が予想以上に賑わったことが良かった。
- ②今年も引き続き健康で休まず漁に出ること。水揚げの柱である「若ガキ」のPR。
- ③庄内の夏の観光資源である「若ガキ」は大切な存在だと思います。食の安心・安全が一般消費者に求められています。是非、漁協に若ガキを殺菌する為の設備を作っていただきたいです。

「ぎよさい」と「積立ぷらす」で拓げる浜の安心！



昭和23年
生まれ



加茂出張所
齋藤 好夫

学校卒業後、漁船・貨物船・タンカーに乗船。58歳から父親の船で刺し網漁業を営み現在に至る。
①1年間、乗船中に事故なく、家族が健康で過ごす事が出来たこと。
②漁獲量が多く、浜が賑わう一年でありますように。
③FISH-1グランプリ獲得おめでとう。山形県の魚の美味しさが伝わることで魚の需要が増え、魚価の低迷が解消することを願う。もう一つ、山形県漁協女性部JF全漁連会長賞受賞おめでとう！

昭和35年
生まれ



由良総括支所
佐藤 欽也

高校卒業後は福島県で就職。その後地元へ戻り底曳船に従事した。現在は独立して欽幸丸（4・9トン）にて漁業を営んでいる。
①明けましておめでとうございます。旧年中は無事故で操業でき、家族が大きな怪我や病気がなく過ごせたことが何よりでした。
②安全操業、大漁満足、魚価の向上。全ての浜に活気と笑顔があふれる一年に。
③魚価安、燃油の高騰と漁業者にとって依然厳しい状況が続いています。漁業者と漁協が一丸となって頑張っていきたいと思います。

昭和47年
生まれ



念珠関総括支所
佐藤 英壮

高校卒業後は大学へ進学し卒業後に家業の底曳船「昭栄丸」に乗船。今年で26年目になる。
①誰も怪我せずに一年間操業できたこと。今年も健康第一で無理せず操業することを心がけています。
②昨年、所有船の機関換装が終わりしました。心機一転、今年も漁を頑張りたいです。大漁して、浜が賑わう明るい年になることを願っています。
③仲買人の減少、魚食離れなど漁業者にとって厳しい状況が続いています。県や市と共に、魚価アップにつながる斬新なアイデアを期待したいです。

昭和59年
生まれ



温海出張所
鈴木 剛太

高校卒業後、鶴岡市内の内装業店に勤めるも、漁師になりたいという夢を断ち切れず、一年ほどで鼠ヶ関港の底曳網漁船と東京都神津島の一本釣・突き棒漁船に乗船。その後着火船を譲り受け、現在に至るまで米子新港ではえ縄業を営んでいる。
①マグロはえ縄業漁で、近年と違い大型魚の回遊が増えたため、マグロの漁獲規制枠をより活用でき、操業日数が増えたこと。
②年男ということもあり、さらに熱意をもって仕事に励みたい。また、活魚の出荷等に力を入れ、魚の質、市場単価の上昇につなげていきたい。
③鯛はえ縄漁の漁獲量が減少してきていることを踏まえ、活魚出荷で色々な魚を豊洲市場に出荷していますが、活魚水槽等を個人負担で維持している状況なので、漁協からも活魚設備の充実化に協力して頂きたいと思っています。

平成8年
生まれ



さかた総合市場
菅原 雄輝

平成31年度より県漁協さかた総合市場配属になった、元高校球児。野球で培った忍耐と根性で、力仕事もなんのその、頼れる超大型新人である。
①ラグビーワールドカップが国内で開催された昨年、日本代表の大躍進により明るいニュースが沢山報道されたこと。「one team」日本代表の活躍で日本は一つになりました。当漁協も「one team」となり水産業の発展へ尽力しましょう。2019年の年始に引いたおみくじが大吉だったことが個人的には良い事でした。
②「大漁であること」、それに尽きます。県内の水産業が活発になり、潤うことを期待します。個人的にも何か良いことが起こりますように。
③さかた総合市場の施設が老朽化しているので改修をお願います。また、水産業の発展の為、魅力を発信し続けていくこと。個人的には給料アップと後輩職員が欲しいです。



「ぎよさい」と「積立ぷらす」で家族も安心！

令和2年度水産業振興に関する要望書を提出

令和元年12月18日、山形県庁にて、水産業振興に関する要望書が吉村知事に提出されました。

当日は本間組合長から若松副知事へ要望書が手渡されました。

本県の水産業は、地球温暖化の影響等による漁海況の変動、国際的な漁業規制等への対応、漁業就業者減少や高齢化による後継者不足等の漁業の構造的な問題に加え、沖合漁業においては外国船による違法操業や漁獲圧等、依然として困難な諸問題に直面しています。

当漁協では、経営改善の為に「第6次中期経営改善改革」を策定し、漁協組織の健全化に向けて取り組んでいるところであります。また、「浜の活力再生プラン」を中心として漁業の持続的発展や漁業所得向上を目指し取り組んでいるところです。

しかしながら、諸問題の中には、当組合の自助努力だけでは解決が困難な課題が多くあります。

このことから山形県をはじめ、酒田市、鶴岡市、遊佐町に対し令和2年度予算作成にあたり要望事項の具体化、実現のために要望書を提出し支援を要請しております。

要望事項の骨子

1. 水産政策改革への適切な対応について
2. 庄内浜水産物の販売促進について
3. 漁協経営基盤強化に対する支援について
4. つくり育てる漁業の推進について
5. 漁業の担い手育成・確保の強化について
6. 漁業の構造改革の更なる推進について
7. 漁港・港湾施設の整備充実について
8. 漁業経営特別支援対策資金(漁協単独融資資金)に対する利子補給支援について
9. 県漁業試験調査船「最上丸」の効果的運用について
10. 燃油税制に係る特例措置について
11. 豊浦荷捌施設整備への支援について
12. 無線設備規制改正にともなう無線機器更新への支援について
13. 山形県水難救済会に対する支援について



山形県副知事



庄内総合支庁長



酒田市長



鶴岡市長



遊佐町長

理事会情報

令和元年度 第6回 理事会議案
開催日…令和元年12月10日(火)
場所…由良温泉 ホテル八乙女

【協議事項】

- 1 令和元年度上半期監事監査の結果について
- 2 内共第1号第5種共同漁業権行使規則第4条2項の制による制限について
- 3 山形県地域協調型洋上風力発電研究検討会議の法定協議会への参画について
- 4 うぐい・こい・ふな刺網漁業の承認について
- 5 さくらます刺網漁業の承認について
- 6 年末年始の取扱いについて
- 7 理事者の一般社団法人山形県漁業リース協会への理事就任について

【報告事項】

- 1 令和元年11月末現在収支状況について
- 2 令和元年度水産業振興に関する要望書(追加分)について
- 3 JF全国代表者集会について
- 4 令和元年度JFマリンバンクモニターリングの結果について
- 5 2019年度(第34回)漁協運動功労者表彰及び令和元年度山形県水産業賞の受章について
- 6 Fish1グランプリ「プライドフィッシュ料理コンテスト」グランプリ受賞について
- 7 組合員の加入・脱退・減資について
- 8 理事ご逝去について
- 9 その他

「ぎよさい」と「積立ぷらす」で経営安定!

山形県漁協女性部

「小さな親切」実行章受章!



左から佐藤初子部長と前田会長

11月27日、酒田市上本町の前田製管本社ビルにて、酒田「小さな親切」の会（会長・前田直「前田製管相談役」）による「小さな親切」実行章（善行賞）贈呈式が行われました。小さな親切実行章は「できる親切はみんなでしょう、それが社会の習慣となるように」をスローガンに、33都道府県・139市町村で組織されている「小さな親切」運動における中心的な役割を果たしており、環境美化や福祉等、個人または団体が行った善行に対し贈られています。今回は山形県漁協女性部が長年に亘り行ってきたLGL（ライフガードレディース）による庄内浜クリーン運動に対し、実行章贈呈されました。

酒田「小さな親切」の会の前田会長は、「みんなで一つずつ目の前のゴミを拾い続ければ、いつの日か昔のような美しい砂浜が戻ることだろう。」と語っておりました。

この受賞を機に、山形県漁協女性部の皆様のさらなるご活躍を祈念いたします。

山形県漁業調整規則改正にかかる意見交換会の報告

前回9月号では、改正漁業法の概要を説明しましたが、その後11月19日に県漁協本所、12月2日に念珠閣総括支所、由良総括支所で「山形県漁業調整規則改正の方向性」、「知事許可漁業の制度改正」、「資源管理」について意見交換を行いました。

山形県漁業調整規則の改正では、海面と内水面で別々に規則が規定されていたものを一元化します。そのため構成面では変更されますが、水産動植物の採捕制限等、現状の規制内容は変更しないように検討しております。

次に、知事許可漁業については①県内船のほとんどの漁業（新設を検討する「あわび・なまこ漁業」を除く。）は、許可が満了する都度継続申請を行うことで、許可を持ち続けることができます。②新規許可の手続きには、当課ホームページ等で公示する期間内に申請する必要があるとあります。③密漁対策として、あわび・なまこは「特定水産動植物」に指定されます。漁業権や漁業許可に基づかず採捕をした場合は、漁業法違反となります。④資源管理等の重要なデータとするため、全ての知事許

可漁業について漁獲成績報告書の提出が義務づけられます。

なお、現在の知事許可漁業の許可証は、法施行後であっても許可期間が満了するまでは有効です。また、改正後の新規許可及び満了時の継続申請手続きについては、手続きに要する期間が現状より長くなるため、早めの手続きが必要となります。

最後に、資源管理については、TAC法が改正漁業法に組み込まれます。操業データと研究機関等による資源調査により資源評価、資源管理を行うこととなります。詳細については、分かり次第皆様に情報提供して意見を聞きながら進めていきたいと考えています。



庄内総合支庁 水産振興課

課長補佐 板本 健児

鮭増殖実習 加茂水産高校 大山小学校合同放流会

水産資源の保全のためには栽培や養殖についての学びも大切です。11月12日箕輪鮭漁業生産組合さんの協力を頂き、加茂水産高校の2年生が研修を行いました。まずは鮭を捕まえ、鮭を棍棒で気絶させて、腹を開き、卵を取り出すまでを実際に体験しました。大きな鮭を何十匹と行うのには大変苦労し、このような作業を通して次の命を守っていることに考えさせられる実習でした。



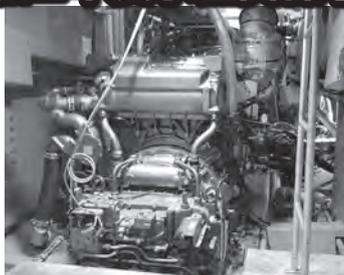
また、11月14日には三瀬の水産振興協会より分けて頂いたクロダイとヒラメの稚魚を、大山小の5年生と共に合同放流会を行いました。しかし、あいにく当日は悪天候のため放流は中止となりましたが、代わりに、おけさ会の粕谷雅昭氏によるクロダイ学習会と、高校生によるカレイ学習会を行いました。普段の生活では生きたヒラメやクロダイを間近で見ることが少ないため、大きな歓声をあげながら、楽しそうに体験しました。来年は、是非とも一緒に放流体験をしたいものです。 加茂水産高校 教頭 蛸井 朗

令和元年度補正予算及び令和2年度水産関係予算が成立します！

令和元年度補正予算及び令和2年度水産関係予算が12月に概算決定され、今後の国会にて正式に成立する見込みです。JFグループで3,000億円を超える規模の予算を強く要望してきた結果、予算総額3,005億が確保され、2年連続で3,000億円を超えました。

そのうち、水産業成長産業化沿岸地域創出事業（新リース事業）は100億円、競争力強化型機器等導入緊急対策事業40億円、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（漁船リース事業）は所要205億円が措置されます。

事業の内容・要件・応募期間等の詳細は未定ですが、情報が入り次第お知らせいたします。



すいさん山形の一部電子化及び綴じファイル作成の終了について

この度近年の世情を鑑み、紙媒体での配布を一部取りやめ電子媒体での配布を開始することになりました。毎号ご愛読を賜っております皆様には、心苦しいところではございますが、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

また、発行25号毎にお送りしておりました「綴じファイル」につきましてもこの度をもちまして終了させて頂きます。

なお、電子版「すいさん山形」につきましては、現在も当組合ホームページ（<https://www.kengyokyo.or.jp>）に掲載しております。情報更新時のお知らせ方法については検討中ですが、右記のQRコードからいつでもアクセスいただくことが出来ますので是非ご利用下さい。

これからも「漁民と手をつなぐ広報誌」をモットーに、魅力ある紙面づくりに努めてまいりますので「すいさん山形」をご愛読賜りますようお願い申し上げます。



こちらから
アクセス

鮮度保持の技術は魚の品質を高め、価値の向上を図る上で今や必要不可欠なものです。これから漁友会の皆さんが自己研鑽に励み、魚価の向上に繋がればと思います。

念珠関支所に試験的に設置している蓄養水槽からタイやヒラメを手際よく次々と活け締めしていく高木講師の様子に、参加者は歓声を上げながら興味深く見ていました。その後の実践では、参加者の皆さんが次々と活け締めを行いました。またたく間に活魚がなくなるほど積極的に取り組み、「今回の講習を今後の漁業活動に生かしたい。」という強い意気込みを感じました。



山形県沿岸青年漁友会主催

鮮度保持講習会開催!



何でも魚ッティング



冬に成熟する、美味しいアカモクを増やそう!

あけましておめでとうございませす!! 今日皆さんもご存じのアカモク(ギバサ)の話です。アカモクはワカメや昆布と同じ褐藻の仲間で、強い粘りと歯ごたえが特徴ある美味しい海藻です。また、フコイダンやフコキサンチンなどの成分を多く含み、健康食品としても注目されています。さて、アカモクは10m以上に成長する大きな海藻ですが、多年生ではなく、毎年、成熟時期になると枯れる1年生の海藻です。庄内沿岸では5、6月に成熟する春タイプが多いのですが、飛鳥や米子漁港など一部の静穏域には2、3月に成熟する冬タイプも生育しています。

2、3月に成熟する冬タイプは柔らかくて食感が良く、また、虫などの不純物の付着が少ないといった特徴があり、春タイプよりも美味しいことから、本県で流通する物のほとんどが、隣県産の冬タイプとなっております。

この美味しい冬タイプを増やすため、水産試験場では米子漁港の母藻を提供していただき、昨年3月に初めて冬タイプの種苗生産を行いました。半年後の9月に天然個体が約10cmの大きさであったのに対し、水槽で飼育したアカモクは最大60cm、10月には1m以上に成長させることが出来ました。これは、水温が低く成長しない3、5月の時期に、加温して飼育したことによるものと考えています。



天然アカモク(9月)



飼育アカモク(10月)

さらに、移植しても成長するかどうかが調査するため、堅苔沢漁港では9月、暮坪漁港では10月に移植試験をしたところ、1ヶ月後には約2倍の大きさに成長していました。来年度は多くの場所で移植試験を実施するため、規模を拡大して種苗生産をする予定です。興味がある方は試験場までご連絡をよろしく願います。

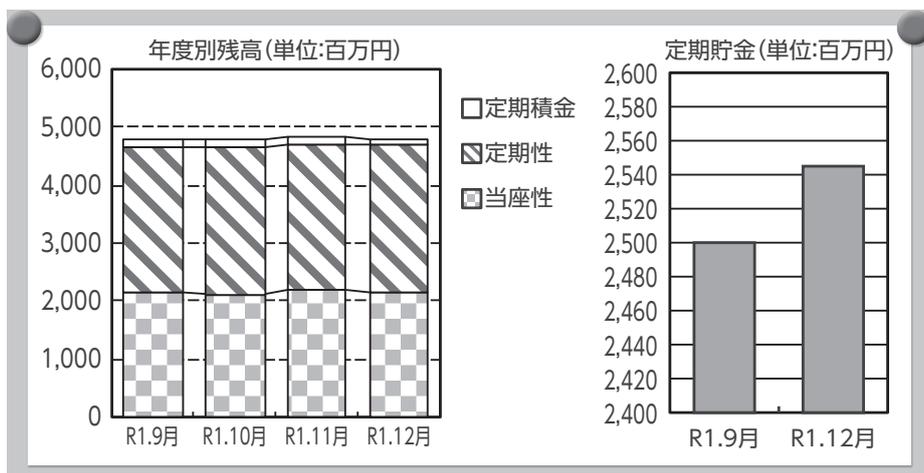
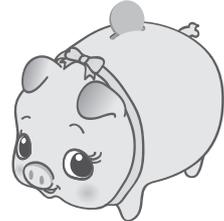
浅海増殖部 工藤 創

全国統一キャンペーン漁協みな貯金運動

ご協力ありがとうございました!!

当組合では、「全国統一キャンペーン漁協みな貯金運動」を令和元年10月より3ヶ月間に渡って展開してまいりました。期間中はお客様をはじめ、総代、組合員、漁協女性部ならびに関係団体の皆様からは格別なご協力を賜わり、誠にありがとうございました。

定期貯金を中心に推進し、令和元年9月末より45百万円増加で終了いたしました。



今後、年度末にも年度末貯金推進運動を展開してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



お金の困りごとはありませんか？ すぐに漁協に相談してください！

急な支払いで100万円を借りたい

組合員限定の事業資金（緊急支援資金）があります！200万円までOKです！

エンジンや機器類を新替えしたい

漁業近代化資金があります。現在の利率は0.2%~となります。補助金もありますので、次年度を見据えて計画的にご相談ください。

家を建てたけど、最近の地震や水害が心配なんだよな...

JF共済には、くらし（生活総合共済）がありますよ！掛金の負担が少ない「50型」も好評です♪

住宅ローンがそろそろ終わるので、キッチンとトイレを新しくしたい

JFリフォームローンがあります♪外壁塗装もOKです。

今年の4月に子供・孫が就職（乗組員・会社員）するので、車を買いたいけど、組合員じゃないんだよね。漁協は無理なんですよ？

JFマイカーローンにお任せください！組合員外でも200万円までなら大丈夫です♪

カーポートを設置したいけど、さすがにローンは無理だよね？

いえいえ。JFマイカーローンなら大丈夫ですよ♪

子供が生まれたので、共済に入りたい

JF共済には「チョコー」（普通厚生共済）があります♪
早いうちに加入した方がお得で安いです！

お金を計画的に貯めたいんだけど...

JF定期積金でコツコツ貯めましょう！毎月自動で貯まりますよ♪
また、毎年10月～12月と3月までは、定期貯金の金利優遇キャンペーンを行っています！

「ぎよさい」と「積立ぷらす」で実現！ 安心経営！

水揚情報

令和元年12月31日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
11月末迄水揚累計		1,925,240	70,179	43,913	993,725	109,164	193,567	131,927	29,985	352,780
月間水揚	県内船水揚	211,652	10,237	4,815	76,013	6,923	37,413	14,360	1,638	60,253
	県外船水揚	129,557	0	0	129,557	0	0	0	0	0
	合計	341,209	10,237	4,815	205,570	6,923	37,413	14,360	1,638	60,253
前年同月水揚		352,636	8,299	2,669	235,557	10,324	33,497	15,501	1,249	45,540
本年度水揚	県内船水揚	1,537,070	80,416	48,728	488,489	116,087	230,607	146,287	31,623	394,833
	県外船水揚	729,379	0	0	710,806	0	373	0	0	18,200
	合計	2,266,449	80,416	48,728	1,199,295	116,087	230,980	146,287	31,623	413,033
前年度水揚累計		2,377,286	72,675	55,704	1,292,188	136,704	235,067	148,015	31,786	405,147
増減		-110,837	7,741	-6,976	-92,893	-20,617	-4,087	-1,728	-163	7,886
本年度水揚計画		2,720,000	95,500	79,000	1,428,000	128,000	278,000	166,000	41,500	504,000
達成率		83.3%	84.2%	61.6%	83.9%	90.6%	83.0%	88.1%	76.2%	81.9%

今あがっている魚

- 12月のベストテン -

前年対比 増↗ 減↘ 変らず→

水揚金額(千円)				漁獲量(kg)					
1	するめいか	187,136		↘	1	するめいか		180,291	↘
2	ほっこくあかえび	24,653		↗	2	はたはた		51,664	↗
3	たい	20,925		↗	3	たい		34,819	↗
4	はたはた	16,543		↘	4	さけ		24,203	↘
5	さけ	15,754		↘	5	べにずわい		21,600	↗
6	ずわいがに	11,031		↗	6	ほっこくあかえび		19,695	↗
7	たら	6,931		↗	7	たら		18,432	↗
8	ひらめ	4,099		↘	8	ぶり・いなだ		10,886	↘
9	ぶり・いなだ	3,958		↘	9	ほっけ		9,076	↗
10	あわび	3,672		↘	10	あじ		6,729	↗

月間MVP

月間MVP



◆新年あけましておめでとございませう。昨年は5月に新しい天皇が即位され、日本中が祝賀ムードに包まれる中、令和の新时代が始まりました。一方で、自然災害が度々発生し、当県においても6月の山形県沖地震では多くの方々

が被災されました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。◆2019年の世相を表す漢字が「令」になりました。令が支持を集めた理由については、「新元号に新时代の希望を託した」という明るいものが多かったようです。新元号は日本最古の歌集「万葉集」の一節が引用されました。人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ、という意味が込められているそうです。

◆2020年は56年ぶりに東京で夏季オリンピック・パラリンピックが開催されます。世界中から日本を訪れる人々に、日本の食、特に山形の水産物を味わっていただき、世界に向けて山形の水産をアピールできたらと願っております。

◆「すいさん山形」は今後も編集委員一丸となり、充実した庄内浜の情報誌づくりに努めてまいりますので、引き続き皆様からのご意見・情報をご提供いただきますようお願いいたします。

日本漁船保険組合 山形県支所 統括部 統括課

課長 鈴木 信也

山形県水産業賞授賞式

令和元年11月26日にホテルメトロポリタン山形にて山形県水産業賞の表彰式が行われ、底曳網漁業を営む齋藤守氏と、いか釣船団である山形県船友漁撈長会が受賞されました。

この賞は水産業関係団体の指導的立場にあり、他の水産業者の模範となる功績があった個人や団体、また長年に亘り水産業に清励し、経営改善や水産物の付加価値向上、技術開発等に功績があった個人や団体に贈られるものです。創立された昭和54年以降、昨年度までに43個人、6団体に授与されております。

齋藤氏は平成元年に青年漁業士、平成20年には指導漁業士に認定され、平成28年度から現在に至るまで山形県漁業士会会長としてご尽力されております。また、いち早く漁船の更新に取り組む等、漁業経営に意欲を見せ他の漁業者を牽引する役割を担っております。

一方、山形県船友漁撈長会は昭和50年に発足し、中型イカ釣り船13隻が所属しています。船団の水揚げは本県の水揚げ金額の全体の1/3を占めており、特に酒田港は水揚げが全国6位になる程です。船団が水揚げす



る良質な「船凍いか」は水産加工業者の誘致につながっており、地域産業の活性化に大いに貢献しています。また、酒田市が開催した食育教室においては材料の無償提供を行う他、平成18年から毎年6月に行われている「いか釣船団出港式」においても、主役となって盛り上げ、約3000人を集客する等「いかのまち酒田」のPRに大いに貢献しております。

更には、平成20年からインドネシアからの漁業研修生を受入れを行っており、現在まで延べ121名が「いか釣漁業」を学び、外国人受け入れの先駆けとなっていることが功績として認められました。

この受賞を機に更なる本県水産業の振興にご活躍くださることをご祈念申し上げます。

大盛況 酒田いかまつり in 吉祥寺



12月1日(日)酒田市と友好都市である東京都武蔵野市において、山形県漁業協同組合、(株)山形飛鳥、(株)荘内銀行のご協力のもと「酒田いかまつりin吉祥寺」を開催し、「酒田船凍いか」のPRとスルメイカ加工品の販売を行いました。昨年は台風の影響を受け中止となり、2年ぶり2回目の開催です。

会場のコピス吉祥寺には、早朝から多くの武蔵野市民が集まり、丸山酒田市長の挨拶によりオープニングが告げられると、威勢の良い掛け声とともに、いかの塩辛や一夜干し・沖漬けを買い求めるお客さんと賑わいました。また、船凍いかのから揚げの振る舞いには、「すごく美味しい！」など大変好評をいただきました。

松下玲子武蔵野市長もおいでになり、スルメイカ加工品のPRにご協力いただきました。今後も継続して開催し、スルメイカをはじめとする海産物を首都圏に向けて発信したいと考えておりますので、皆様のご協力よろしくお願いたします。

酒田市農林水産課 課長補佐兼水産振興係長 長谷川正彦